はじめに

GENIO eで色々なことができます。
使い方の詳細は取扱説明書をご覧ください。

アドレスの管理ができる！

スケジュールの管理ができる！

手書きのメモ、図、文字の入力ができる！

音声の録音ができる！

文章や表の作成や修正ができる！

音楽を楽しめる！

広がるGENIO eの世界

お手持ちの携帯電話やPHSカードと接続して、
移動先でホームページを見たり、
電子メールの送受信ができる！

お手持ちのパソコンと接続して、
パソコンで作成したファイルを
GENIO eに転送して持ち歩いたり、
GENIO eで編集した後、
パソコンに戻して再編集できる！

CFやSDに記録されている、
デジタルカメラで撮った画像を、
見たりメールですぐに送れる！

英和、和英、国語辞書が
使える！

電車の乗り換え案内に使える！

ちょっと一息、ゲームもできる！

初めにセットアップをしよう

次にパソコンとの接続をしよう

通信設定をしてみよう

付属品

最初に付属品をご確認ください。

スタイラス（本体に装着）.................... 1本
USB クレードル 1個
AC アダプタ 1個
電源コード 1本
カーソルボタン（交換用）.................... 1個
ソフトケース 1個
コンパニオン CD 1枚
保証書 1枚

クイックスタートガイド（本書）............ 1 冊
取扱説明書 .... 1 冊
ソフトウェア使用許諾書......................... 1 式

● 以下 e550G/MD のみに付属
1GB Microdrive™ .... 1 個
取り出しテープ .... 2 枚
1GB Microdrive™ 取扱説明書 .... 1 冊

もくじ

（お使いになる前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。）

最新の情報は、ホームページをご覧ください。

http://genio-e.com/

各部のなまえと機能

■ 本体（前面・左側面・底面）

マイク

録音ボタン
（プログラムボタン5）
押している間、録音できます。

赤外線ポート

リセットスイッチ
本体をリセット（再起動）するときや
初期化するときに押します。

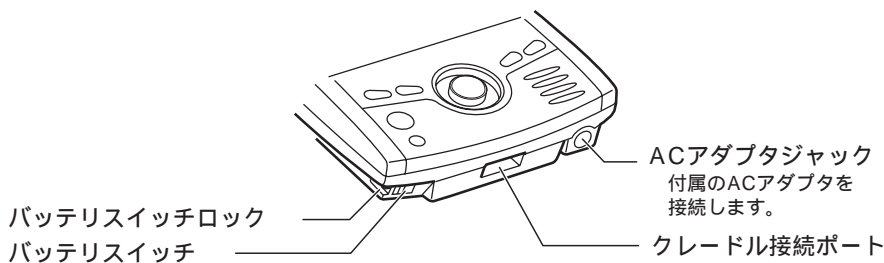
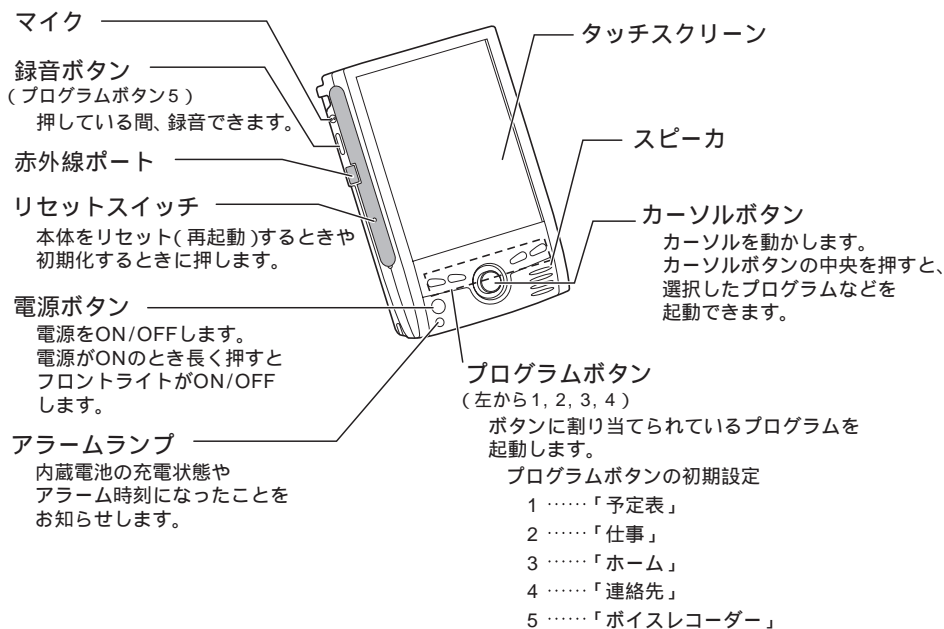
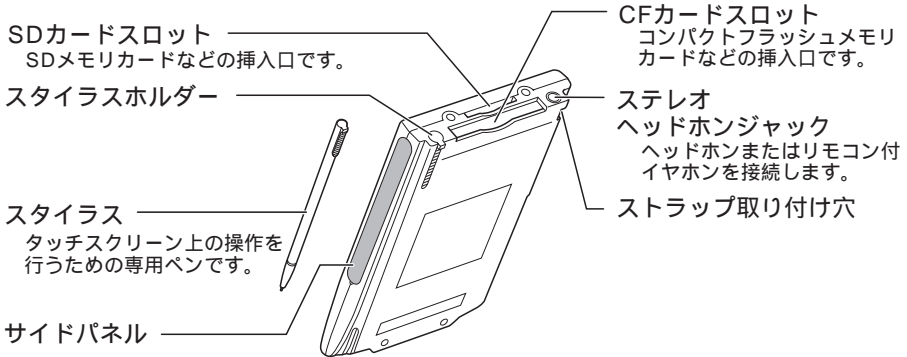
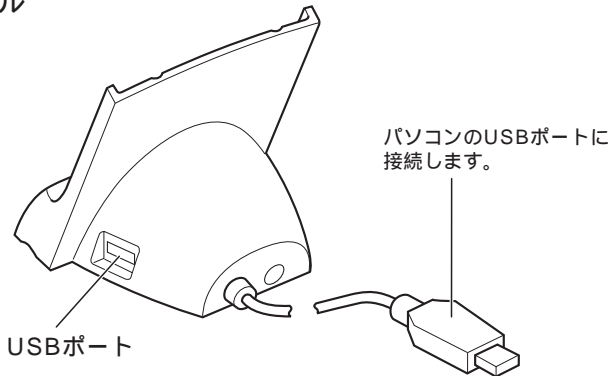
電源ボタン
電源をON/OFFします。
電源がONのとき長く押すと
フロントライトがON/OFF
します。

アラームランプ
内蔵電池の充電状態や
アラーム時刻になったことを
お知らせします。

タッチスクリーン

スピーカ

カーソルボタン
カーソルを動かします。
カーソルボタンの中央を押すと、
選択したプログラムなどを
起動できます。

プログラムボタン
（左から1, 2, 3, 4）
ボタンに割り当てられているプログラムを
起動します。
※プログラムボタンの初期設定
1 ……「予定表」
2 ……「仕事」
3 ……「ホーム」
4 ……「連絡先」
5 ……「ボイスレコーダー」

■ 本体（上面・背面）

スタイラスの使いかた

● **タップ**

タッチスクリーンを軽く１回タッチする操作です。

画面上のメニュー、アイコン、ボタンなどを選択するときに使います。

● **タップアンドホールド**

タッチスクリーンをタップして押し続ける操作です。

画面上のアイコンや項目を「タップアンドホールド」するとポップアップメニューが表示されます。

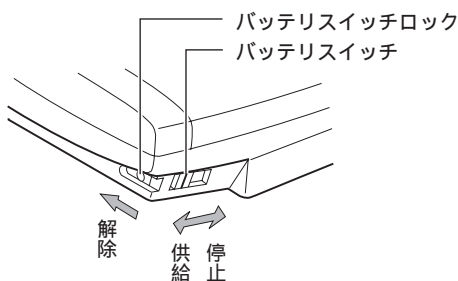
● **ドラッグ**

タッチスクリーン上をスタイラスを使って引きずる（ドラッグ）操作です。

画面上のアイコンなどの移動や手書き入力、描画するときにこの操作をします。

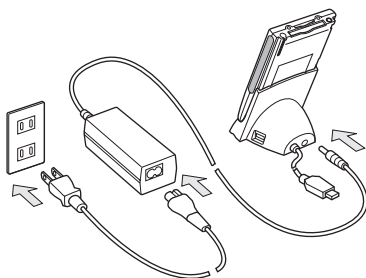
セットアップ

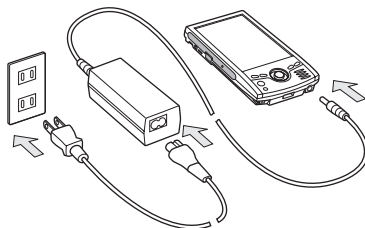
1 バッテリスイッチを「供給」にする

工場出荷時はバッテリスイッチが「停止」になっています。
お買いあげ後、初めてお使いになるときはボールペンのペン先などで「供給」側に移動してください。
通常は「供給」にしておきます。

- 「停止」側に戻すときは、バッテリスイッチロックをスタイラスで「解除」側に押しながら行います。

2 AC アダプタで電池を充電する

充電するときの接続のしかたには、2 つの方法があります。

クレードルを使う方法

付属の AC アダプタとクレードルを図のように接続し、本体をクレードルに差し込みます。

本体に AC アダプタをつなぐ方法

付属の AC アダプタと本体を図のように接続します。

お知らせ

- 充電中は、アラームランプがオレンジ色、または黄色に点灯します。黄色の点灯中は充電を続けてください。充電を中止すると本体内の記憶データが消失する恐れがあります。
- 充電が完了すると、アラームランプが緑色に点灯します。

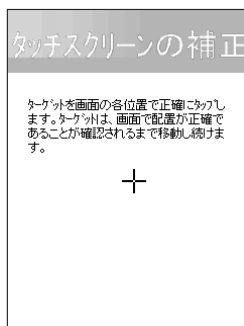
3 充電完了後、電源ボタンを押して電源を ON にする

初期セットアップの「ようこそ」という画面が表示されます。

4 初期セットアップの「ようこそ」の画面をタップする

「タッチスクリーンの補正」の画面が表示されます。

5 「タッチスクリーンの補正」を行う

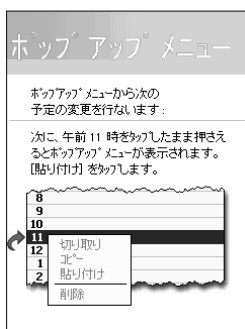
- スタイラスでターゲット（十字）の中心をタップします。ターゲットはタップするごとに動きます。5 回タップすると補正が完了し、次の「スタイラス」の画面に移ります。

お願い

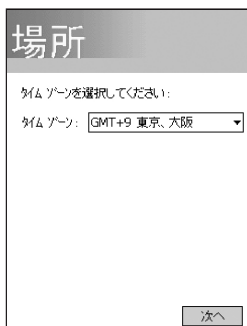
- **指などが画面に触れたりすると、補正できません。そのときは補正が完了しませんので、指などを画面から離し、もう一度ターゲットの中心をタップし、補正を行ってください。**

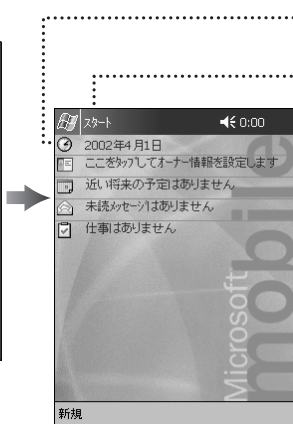
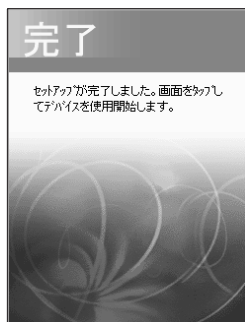
❻「スタイラス」の使いかたの説明を読む

- 説明をお読みになり、[次へ]をタップしてください。

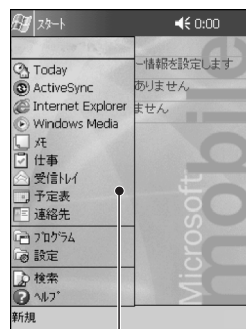
❼ポップアップメニューの操作を練習する

- 画面の説明をお読みになりましたら、実際に操作してみましょう。
  説明に従って「ポップアップメニュー」を表示させる操作と「切り取り」、「貼り付け」を行います。
- 「貼り付け」をしたら練習は終了です。[次へ]をタップしてください。

❽場所を設定する

- 通常はそのまま[次へ]をタップしてください。
- タイムゾーンのボックスの右端にある▼をタップすると、一覧が表示されます。
  必要に応じて本商品を使用する「タイムゾーン」をタップして選んでください。

❾ 「完了」の画面をタップする

「Today」画面になり、本体を使用開始できます。

タップすると、日付、時刻が設定できます。

左上の「スタート」をタップすると、ポップアップメニューが表示されます。メニュー枠の外をタップすると消えます。

「Today」画面

ポップアップメニュー

基本的な使いかたについて

参照 **取扱説明書第 2 章の「基本的な使いかた」**

文字入力のしかたについて

参照 **取扱説明書第 2 章の「文字入力のしかた」**

パソコンとの接続

本体とパソコンを接続すると、本体とパソコンとの間で、「連絡先」、「予定」、「仕事」、「受信トレイ」の同期や、ファイルの転送などが行え、便利です。
パソコンとの接続は、次の 1、2 のステップで進みます。ステップ内の具体的な操作方法は、次ページからご覧ください。

1 パソコンに「Microsoft® Outlook® 2002」をインストールする

パソコンに、すでに「Outlook® 2002」がインストールされている場合はこの作業は不要です。次のステップに進みます。Outlook® 98 または Outlook® 2000 がインストールされている場合でも、Outlook® 2002 をインストールすることを推奨します。インストールには、パソコンの空きハードディスク容量が 230MB 以上必要です。

2 パソコンに「Microsoft® ActiveSync® 3.5」をインストールする

インストールの途中で、クレードル、本体の接続をします。ActiveSync® 3.1 がインストールされている場合でも、ActiveSync® 3.5 をインストールしてください。インストールには、パソコンの空き容量が 12 ～ 65MB 必要です。

お願い

接続の指示があるまで、パソコンと USB クレードル、クレードルと本体を接続しないでください。指示前に接続すると、インストールが正常にできません。

接続できるパソコンについて

参照 取扱説明書第 2 章の「パソコンの必要条件について」

付属のコンパニオン CD の自動起動画面について

参照 取扱説明書第 5 章の「付属のコンパニオン CD について」

1 「Microsoft® Outlook® 2002」をインストールする

実行中のプログラムは終了しておいてください。

❶ パソコンの CD-ROM ドライブにコンパニオン CD を挿入する

CD-ROM が起動したら、「開始ページ」→「Outlook® 2002 のインストール」→「インストール」とクリックしてください。

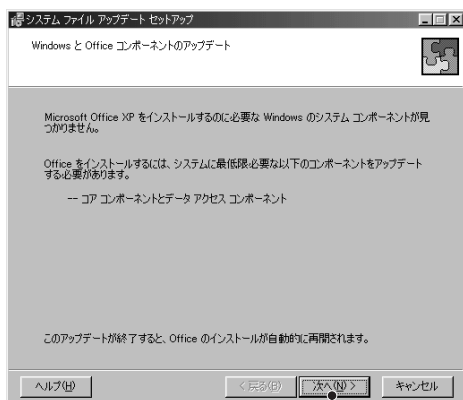
❷ 「インストールメッセージ」画面が表示されたら、［OK］をクリックする

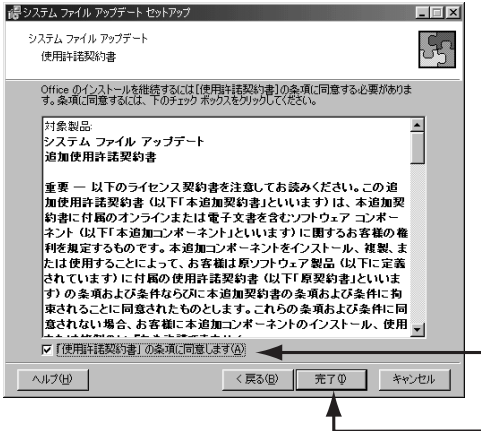
❸ 「ファイルのダウンロード」画面が表示されたら、「このプログラムを上記の場所から実行する(R)」を選択して［OK］をクリックする

❹ 「セキュリティ警告」画面が表示されたら、［はい］をクリックする

ご使用の OS によって、クリック後、⑩の画面が表示されます。ご確認の上、作業を進めてください。

1 「Microsoft® Outlook® 2002」をインストールする

⑤ システムファイルのアップデートを行う

［次へ］をクリックしてください。

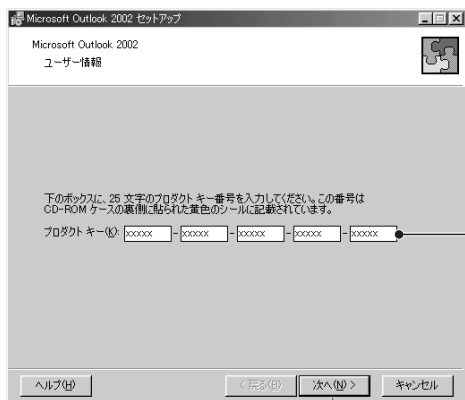
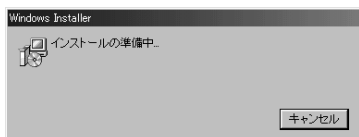
6 「使用許諾契約書」の条項に同意します(A)」にチェックし、［完了］をクリックする

7 システムファイルのアップデートを開始する

8 アップデートが終了したら、パソコンを再起動させる

システムの設定が更新されます。

9 コンパニオン CD が起動したら、①②③④の手順を繰り返す

1 「Microsoft® Outlook® 2002」をインストールする

⑩ [はい] をクリック後、しばらくすると次の画面が順次表示される

プロダクトキー番号を入力して、[次へ]をクリックしてください。

- プロダクトキー番号は、付属のコンパニオン CD のケースに貼られているシールの、バーコードの上部に「Product key:」のタイトルで記載されています。

11 インストールの種類を指定する画面が表示される

すでに Outlook® がインストールされている場合

［次へ］をクリックしてください。

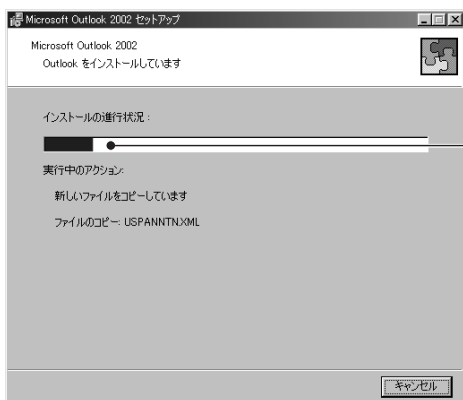
Outlook® がインストールされていない場合

「カスタム」を選択して、［次へ］をクリックしてください。

「Office 共有機能」、「Office ツール」を“ X ”にして、［次へ］をクリックしてください。

1 「Microsoft® Outlook® 2002」をインストールする

⑫ インストールする内容が表示されたら、[完了]をクリックする

⑬ インストールを開始する

進行状況がバーに表示されます。
しばらくお待ちください。

⑭ インストールが終了したら、[OK]をクリックする

⑮ 画面上に「Microsoft® Outlook®」のアイコンができるので、そのアイコンをダブルクリックして、Outlook® 2002 を起動させ、画面の指示に従って設定する

2 「Microsoft® ActiveSync® 3.5」をインストールする

1 パソコンの CD-ROM ドライブにコンパニオン CD を挿入する

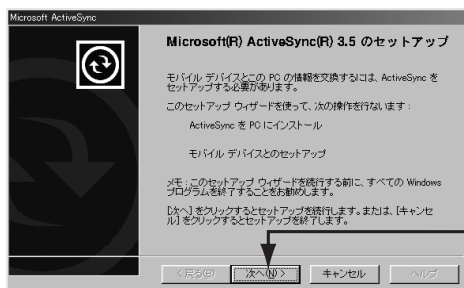
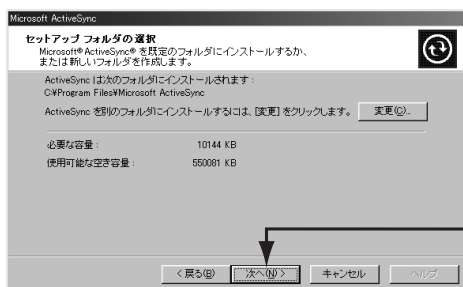
CD-ROM が起動したら、「開始ページ」→「ActiveSync® 3.5 のインストール」→「インストール」とクリックしてください。

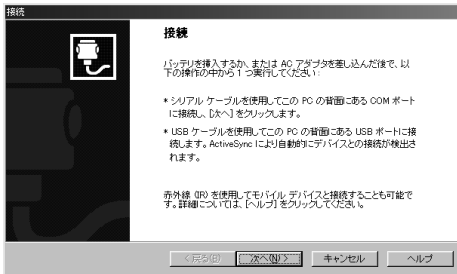
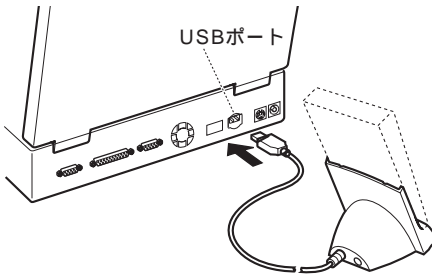
2 「インストールメッセージ」画面が表示されたら、［OK］をクリックする

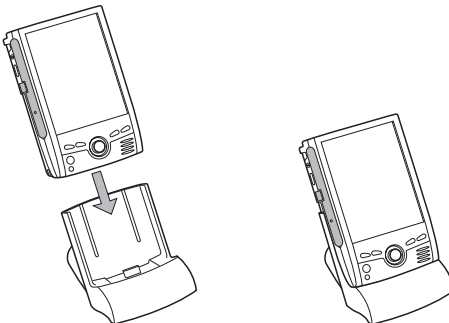
3 「ファイルのダウンロード」画面が表示されたら、「このプログラムを上記の場所から実行する(R)」を選択して［OK］をクリックする

4 「セキュリティ警告」画面が表示されたら、［はい］をクリックする

「Microsoft® ActiveSync® 3.5」をインストールする

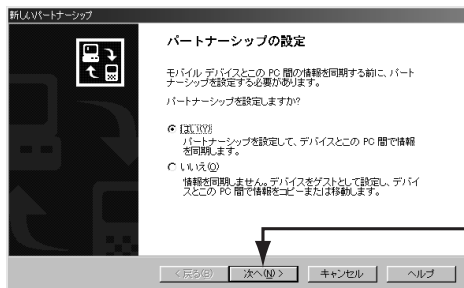
❺「Microsoft(R) ActiveSync (R)3.5 のセットアップ」の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

❻「セットアップフォルダの選択」の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

ファイルのコピー、システムの更新が行われますので、しばらくお待ちください。

7 「接続」の画面が表示される

8 パソコンの USB ポートに、USB クレードルのみを接続する

- このときは、USB クレードルに GENIO e 本体を差し込まないでください。

9 USB クレードルに、電源 OFF にした本体を接続する

- 奥までしっかり差し込んでください。

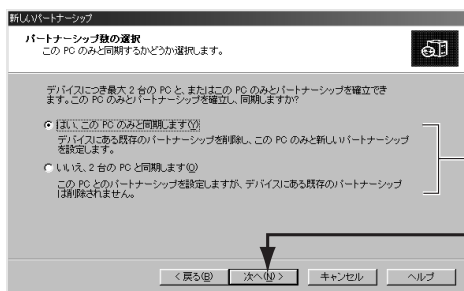
10 本体の電源が自動的に ON になる

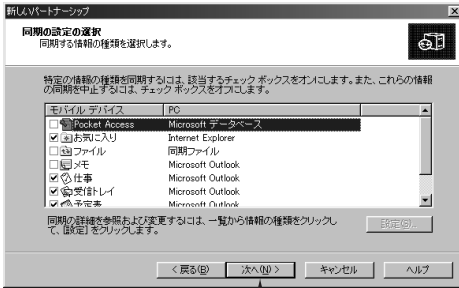
「Microsoft® ActiveSync® 3.5」をインストールする

⑪ しばらくして「パートナーシップの設定」の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

- 「はい」が選択されていることを確認してください。
- 場合によってはクリック後、⑬の画面が表示されます。

お知らせ

- 「開始ページ」の画面の裏に表示される場合があります。

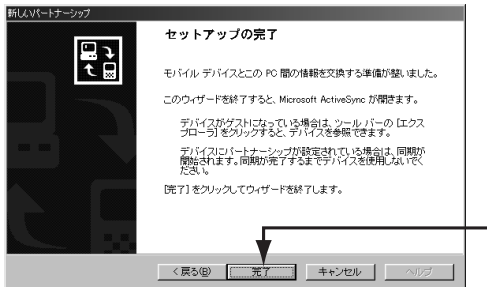
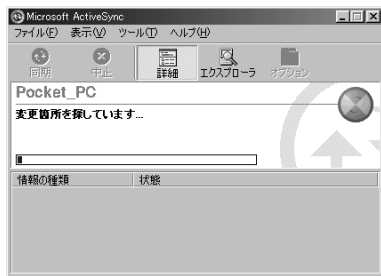
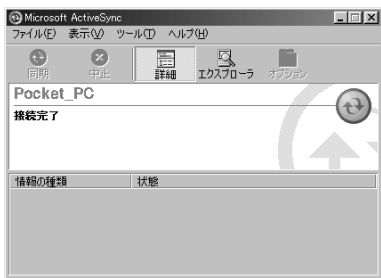
⑫ 「パートナーシップ数の選択」の画面が表示されたら、どちらかを選択して［次へ］をクリックする

どちらかを選択してください。

⑬「同期の設定の選択」の画面が表示されたら、同期したい情報にチェックを付けて［次へ］をクリックする

- 初期設定では、次の情報のチェックボックスにチェックが付いています。

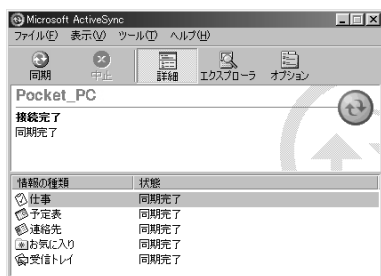
  お気に入り：Internet Explorerのお気に入りページを同期します。
  仕事　　　：仕事情報を同期します。
  受信トレイ：メールを同期します。
  予定表　　：予定を同期します。
  連絡先　　：連絡先を同期します。

- パソコンのOutlook® にある情報などと、本体の情報とを同期します。
  同期とは、パソコンと本体で、新しい情報を両方に更新させて、同じ情報に保つことです。

「Microsoft® ActiveSync® 3.5」をインストールする

⑭「セットアップの完了」の画面が表示されたら、［完了］をクリックする

⑮「接続完了」の画面が表示され、しばらくすると同期を開始する

⑯ **途中「プロファイル選択」の画面が表示されたら、そのまま［OK］をクリックする**
また、「結合 / 置換」の画面が表示されたら、どれか項目を選択して［OK］をクリックする

● 項目はどれを選択しても問題ありません。

⑰ **「接続完了、同期完了」の画面が表示される**

これで、パソコンとの接続は終了です。

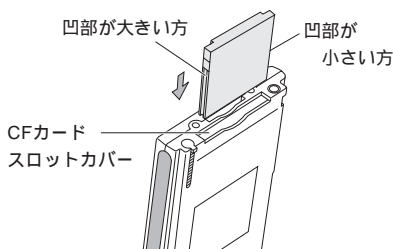
通信設定

本体を使ってインターネットや電子メールをするために通信設定をします。通信設定は、次の 1、2、3 のステップで進みます。

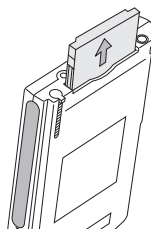
1 インターネットの接続設定をする

CF タイプの PHS カード（P-in m@ster や C@rd H" 64 petit、Air H" Card petit)をご利用の方は、接続設定の前にカードを本体に取り付けます。

カードの取り付けかた

1）本体の電源をOFFにしてください。
2）CF カードスロットの向きと、カードの向きが合うように確認して､差し込んでください。

・カードは､ゆっくり奥まで確実に差し込んでください｡スロットカバーは内側に折りたたまれます。
・カードが差し込まれると､電源が入ります｡

カードの取りはずしかた

1）本体の電源をOFFにしてください。
2）カードの先端部分を指でつまんで、ゆっくり引き抜いてください。

・カードを引き抜くと、電源が入ります。

携帯電話をご利用の方は、本体との接続は、設定後です（38 ページ）。

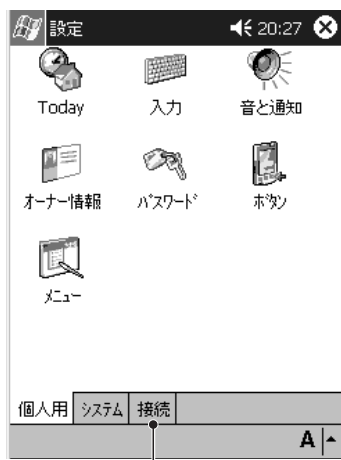
2 電子メールの接続設定をする

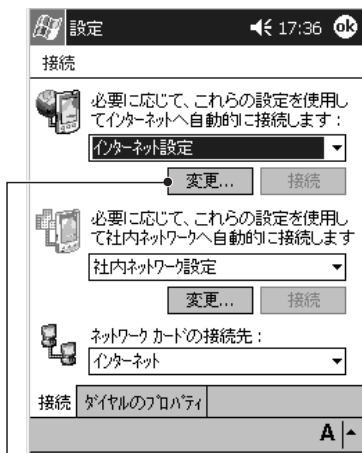
本体のみで接続設定をします。CF タイプの PHS カード、携帯電話接続ケーブルは共にはずしておきます。

3 接続の確認をする

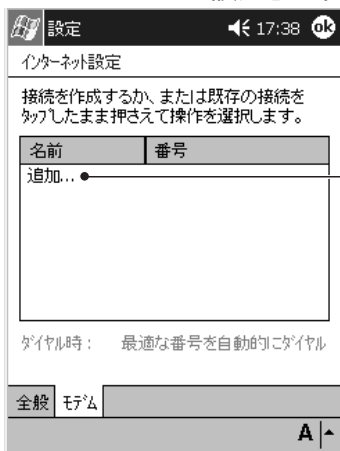
1 インターネットの接続設定

CFタイプのPHSカードを使う場合は、PHSカードを本体に取り付けてください。

❶ 「スタート」メニューから「設定」を選択すると「設定」画面が表示される

［接続］タブをタップしてください。

❷ 次の画面で「接続」アイコンをタップすると「接続」画面が表示される

［変更］をタップしてください。

1 インターネットの接続設定

❸ 「インターネット設定」の画面が表示される

❹ 「新しい接続」の画面が表示される

「接続名」には、内容がわかるような名前を入力してください。
例えば、プロバイダ名などを入力しておけば、後でわかりやすいでしょう。（ここでは、infoPepper を例にしています）

「モデムの選択」と「通信速度」は、ご利用になる CF タイプの PHS カード、携帯電話に合わせて設定してください。

※左図は、「NTT DoCoMo P-in m@ster」の場合です。その他につきましては、下表をご参照ください。

使用する通信機器	「モデムの選択」と「通信速度」
NTT DoCoMo P-in memory	NTT_DoCoMo-P-in_memory 115200
Air H" Card petit CFE-02	NEC_Infrontia-CFE-02 115200
C@rd H" 64 petit CFE-01	Nitsuko-CF_PHS_Module 115200
携帯電話（cdmaOne）	COM5 上のcdmaOne接続：115200
携帯電話（PDC）	COM6 上のPDC 接続：19200
携帯電話（FOMA）	COM7 上のFOMAモデム：115200

各フィールドに入力後、[詳細設定 ...] をタップしてください。

5 「詳細設定」の画面が表示される

「ポートの設定」では、通常変更の必要はありません。

「TCP/IP」も、通常変更の必要はありません。

[ネームサーバー]タブをタップしてください。

6 プロバイダの指示により、どちらかを選択する

各フィールドに入力後、右上の ok をタップしてください。

プロバイダの指示により、どちらかを選択してください。

プロバイダの指定に従って、入力してください。

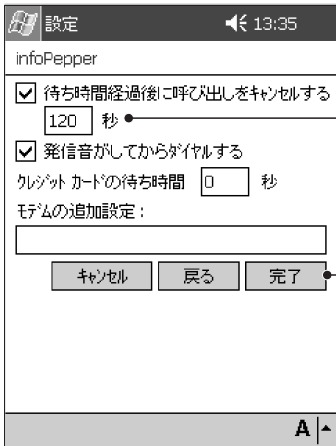
※「プライマリ DNS」「セカンダリ DNS」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

プライマリDNS	Domain Name Server(1) ドメインネームサーバー DNSサーバー DNSネームサーバー DNSサーバーアドレス　など
セカンダリDNS	Domain Name Server(2) ネームサーバー(2)　など

1 インターネットの接続設定

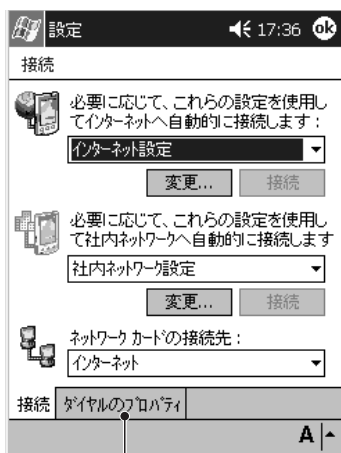
7 「新しい接続」の画面に戻る

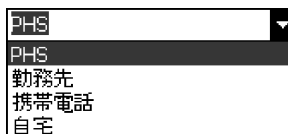
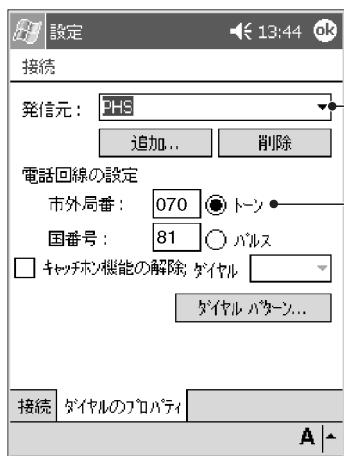
8 この画面では、接続先の電話番号を入力する

9 この画面では、通常変更の必要はありません

10 「インターネット設定」の画面が表示される

右上の(ok)をタップしてください。

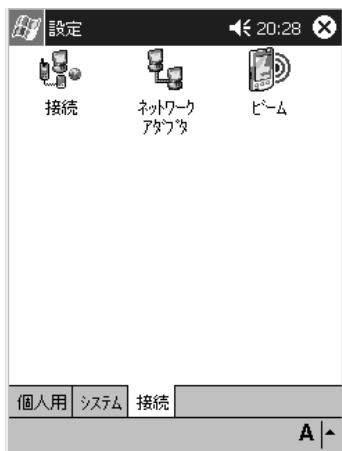
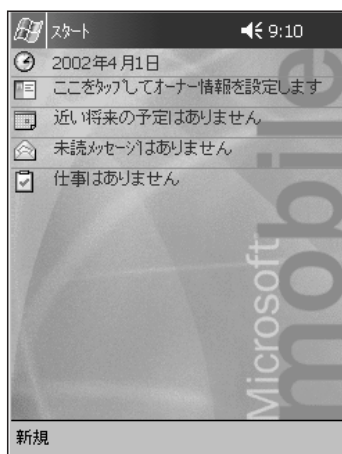
1 インターネットの接続設定

11 「接続」の画面に戻る

「ダイヤルのプロパティ」タブをタップしてください。

12 この画面では、「発信元」と「電話回線の設定」を入力する

「発信元」は、「PHS」か「携帯電話」を選択してください。

「トーン」を選択してください。

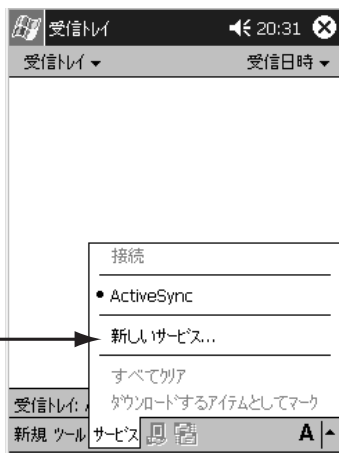
右上の(ok)をタップしてください。

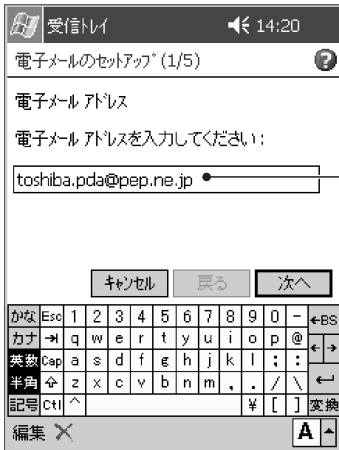
13 「設定」の画面に戻るので、右上の⊗をタップする

14 「Today」画面に戻る

これで、インターネットの接続設定は終了です。

2 電子メールの接続設定

本体から、PHS カード、携帯電話接続ケーブルを、はずしてください。

1 「スタート」メニューから「受信トレイ」をタップする

2 「サービス」をタップし、メニューの中から「新しいサービス」をタップする

「サービス」をタップしてください。

③「電子メールのセットアップ(1/5)」の画面が表示される

メールアドレスを入力して [次へ] をタップしてください。[次へ] をタップしたとき、「ネットワークへのログオン」の画面が表示された場合は、[キャンセル] をタップしてください。

お願い

メールアドレスの入力について、以下の点にご留意ください。

■カンマ (,) とドット (.) の違い

一般に、メールアドレスにはドット (.) が使われています。

入力パネルのキー配列では、カンマ (,) とドット (.) は隣同士にあります。

右側のドット (.) を入力してください。

2 電子メールの接続設定

④「電子メールのセットアップ(2/5)」の画面が表示される

「状態：」のフィールドの表示（「完了」）を確認する

▼本体を USB クレードルに接続していると、「接続中」の表示がしばらく続きます。そのまま「完了」になるまでお待ちください。

接続中...

「状態：」のフィールドが「完了」になったら、[次へ] をタップしてください。

⑤「電子メールのセットアップ(3/5)」の画面が表示される

「ユーザー情報」を入力する

各フィールドに入力後、[次へ] をタップしてください。

通常自分の名前を入力します。
差出人として相手方に表示されます。

プロバイダから指定されたメールサーバへ接続するための「ユーザー名」「パスワード」を入力してください。
(「ユーザー名」には、操作③で入力したメールアドレスの@より前の部分が自動的に表示されますので必要に応じて書きかえてください。)

※「ユーザー名」「パスワード」は、
プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザー名	メールアカウント名 メールボックス名 ユーザID メールログイン名　など
パスワード	メールパスワード 接続パスワード ログインパスワード　など

⑥「電子メールのセットアップ(4/5)」の画面が表示される

各フィールドに入力後、[次へ] をタップしてください。

⑦「電子メールのセットアップ(5/5)」の画面が表示される

各フィールドに入力後、[オプション] をタップしてください。

2 電子メールの接続設定

8 「オプション」の画面が表示される

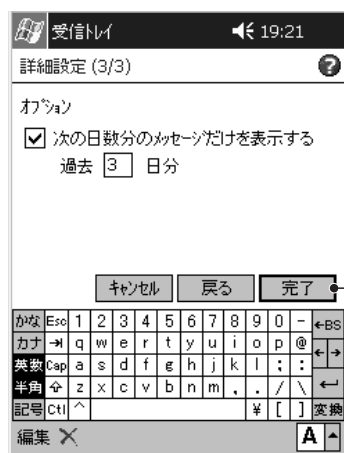
「オプション」は、3 画面用意されています。[次へ] をタップして順に表示できます。

< オプション1 >

必要のない場合は、☑をタップして、チェックをはずしてください。

< オプション 2>

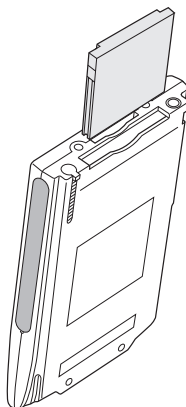
- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択した場合、メールを受信してもメールサーバー上のメールは削除されません。
- 「メッセージの全文を取得する」を選択した場合、受信メールを削除して、再びメールサーバにアクセスするとサーバ上のメールも削除されます。受信メールを削除しなければ、サーバ上のメールは削除されません。

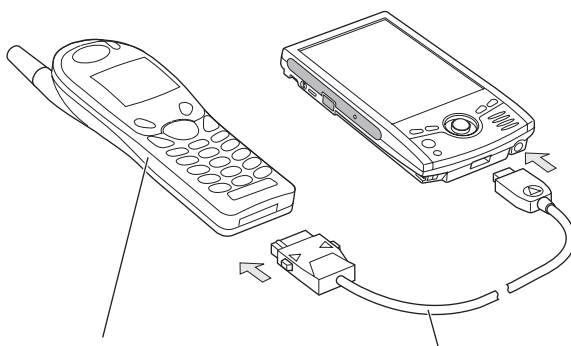
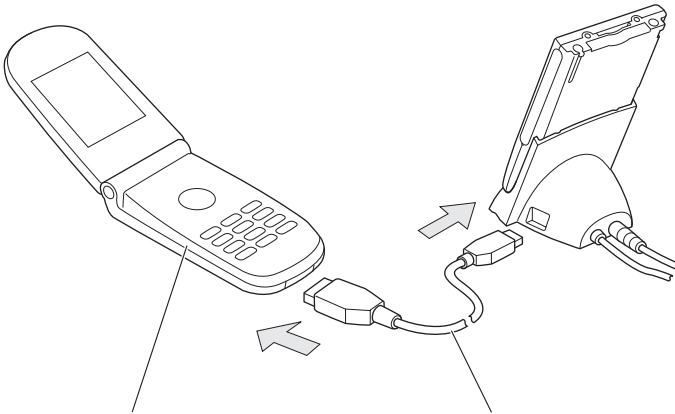
< オプション 3>

「オプション」の設定後、[完了] をタップしてください。

受信トレイに戻ります。

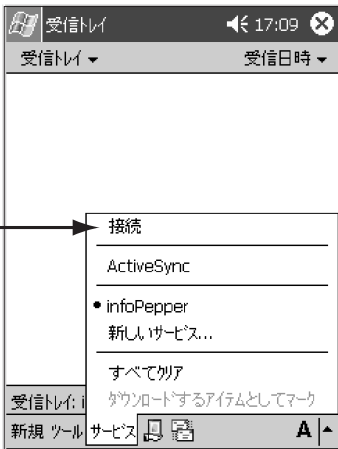
これで、電子メールの接続設定は終了です。

接続の確認

1 本体の電源を切り、CF タイプの PHS カード、または携帯電話を接続する

参照 カードの取り付けかた（24 ページ）

- ご使用する携帯電話に対応した接続ケーブルをご購入ください。

携帯電話(cdmaOne) .... 携帯電話(cdmaOne)接続ケーブル
携帯電話(PDC) .... 携帯電話(PDC)接続ケーブル

お願い

本体がパソコンに接続されている場合は、パソコンとの接続を取りはずしてください。

2 電源を入れて、「受信トレイ」の画面を表示させ、下の「サービス」をタップし、「接続」を選択する

3 接続の確認

③ 「ネットワークへのログオン」の画面が表示されたら、各フィールドへ入力して[OK]をタップする

プロバイダによっては、@以降が不要の場合があります。プロバイダに接続するための「ユーザー名」を入力してください。

通常、入力の必要はありません。

※「ユーザー名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザー名	コネクションID ユーザID ID番号 PPPログイン名 ダイアルアップログイン名 アカウント　など
パスワード	コネクションパスワード PPPパスワード ダイアルアップパスワード ログインパスワード　など

④ 接続が開始され、しばらくすると「接続完了」のメッセージが表示される

接続を切るときは「サービス」から「切断」をタップしてください。

これで、接続の確認は終了です。

- Microsoft、ActiveSync、Outlook、Pocket Outlook、Windows、Windows NT、Windows ロゴ、MSN ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- インテルは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- コンパクトフラッシュは、米国 SanDisk Corporation の登録商標です。
- Microdrive は、IBM Corporation の登録商標です。
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- Macromedia、Flash 及び Macromedia Flash は、Macromedia, Inc. の米国及び全世界における商標または登録商標です。
- ClearVue は、WESTTEK,L.L.C. の登録商標です。
- WESTTEK と WT ロゴは WESTTEK,L.L.C. の登録商標です。
- Java及びJava Powerdロゴは、米国及びその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の登録商標または商標です。
- Jeode は、米国及びその他の国における米国 Insignia Sollutions, Inc. の登録商標または商標です。
- i-navigator および i-enabler は、株式会社イーバレーの商標です。
- 「FOMA/ フォーマ」「i- モード / アイモード」「i アプリ / アイアプリ」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- 本取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

2002年08月　第2版発行

株式会社 東芝 モバイルコミュニケーション社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1